

フランス語の重要基本語彙について考える

三 上 純 子

1. はじめに

フランス語学習の目的が一義的にはフランス語の運用能力を身につけることにあるという立場に立てば、「言語を構成する基本形式である、音・語彙・文法¹」の三要素が学習の根幹をなすことは、大方に異論のないところであろう。

このうち、音については、教室での練習量が十分であるかどうかは別にして、綴り字と音の関係や文におけるイントネーション等の重要性について、今日、教える者の間に大きな意見の差はないように思われる。また文法についても、学習する順序の違いや、一部の代名詞、一部の動詞の法と時制を付録にするといった扱いの違いはあるものの、あるレベル以上の教科書はほぼ同じような範囲の文法事項を扱っていると考えられる。

それに対し、語彙については、中村啓佑氏が『フランス語をどのように教えるか』で述べておられるように、指導法の研究が遅れている²ばかりか、扱っている語彙についての教科書間の違いも大きく、フランス語の初学者が学ぶべき語彙についての共通理解が、教える者の間にあるとは必ずしも言えない現状である。

そこで、フランス語の基本語彙について、一つの教材に依拠する形ではなく、何か議論のたたき台になるものを提供できないだろうかと考えた。今後、いわゆる第二外国語としてのフランス語においても、授業科目の到達目標と評価基準を明確にして行こうとすれば、少なくとも教育機関ごとに、習得すべき語彙について担当者間で一定の共通理解が必要になると思われる。以下に示すのは、そうした検討作業に向けての一つの試みである。

2. 基本語彙についての考え方

さて、基本語彙と言いつつはいるものの、その中身を具体的に定義するとなるとこれはなかなか難しい問題である。田島宏氏が雑誌『基礎フランス語』に書かれた「基本語彙—整理と展開—」と題する連載の最終回で述べておられるように、基本語彙というものが目に見える形で存在しているわけではない。être、avoir、faire、petit、grand、bon、un homme、une femme、un enfantなどは基本語彙に違いないが、どこまでが基本語彙で、どこから先が基本語彙でないかということになると、その境目はきわめて曖昧なのである³。まさにそれ故に、個々の教材や市販されている単語集における語彙の選択に大きな幅があるとも言える。

上に引いた田島氏の文章は1981年に書かれたものであるが、「基本語彙とは何か」という問いに答える難しさを率直に学習者に向けて論じている点も含めて、今なお貴重な示唆を含んでいる。以下、氏の指摘で参考になると思われる部分を紹介しておきたい。

田島氏によれば、一般に科学的と思われている、頻度による語彙選択という方法にも問題がある。話し言葉と書き言葉の間にずれがある上、話し言葉も、どういう人の話を、いつ、どこで採集するかによって結果が大きく異なるからである。さらに、フランス語を外国語として学ぶ学習者に評価の高い *Dictionnaire du français langue étrangère, Niveau 1* (見出し語2500語、展開部7700語) に従来の基本語彙には入らなかった *truc*、*potable* などの語が採用された反面、話し言葉の頻度調査をもとに作られた語彙表 *Le Français fondamental* の第一段階 *1^{er} degré* (約1450語) にさえ入っている、*épingle*、*seau* といった単語が採られていないという例を引きながら、何を基本語彙とするかは2500語レベルでも選択者の立場によって大きな違いが出てくることを指摘しておられる。

では、大方が重要単語として認めうる共通部分というものはないのだろうか。この点について、田島氏は、『朝倉フランス基本単語集』(1959) で最重要語の印が付せられた715語までの段階についてはかなり安定した最重要基本単語と

言えると述べておられる。統計的な観点から見ても、頻度数がはじめの数百語までが極めて高くそれから急速に低くなる傾向があることから、700語前後に一つの境目をおくことは妥当だという見解である⁴。

試しに最重要語の印のついた単語の数に着目してみると、『朝倉フランス基本単語集』⁵と同じく単語の使用頻度を重視して編纂された『スタンダードフランス語基本単語3469』⁶（1972）でも、最重要単語は約600語とされている。そして、現在、フランス語の初学者の多くが使用していると思われる学習仏和辞典、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『プチ・ロワイヤル仏和辞典（第3版）』（旺文社）、『クラウン仏和辞典（第5版）』（三省堂）においては、最重要語の印を付けられた単語は、それぞれ、約550語、約570語、約400語である。付言しておけば、これらの辞書は基本語選定の基準を具体的に明らかにしているわけではないが、例えば『ディコ仏和辞典』には編集方針として、「各種基本語辞典の記述、使用頻度調査の結果などを総合的に判断⁷」したと述べられている。

また、近年、過去問をデータベースにして各級別に単語集が次々と出版されている「実用フランス語技能検定試験」における基本単語についても、その実施母体である「フランス語教育振興協会」から出されたものは『フランス語基本500語』（1998）であり、「日常生活に密着した初歩的なフランス語の理解に不可欠な約500語の基本単語⁸」と説明されている。

こうしてみると、少なくとも500語レベルの基本語彙については共通理解を見いだせる可能性がありそうである。そこで、私はこれらの辞書編纂チームが個々に最重要と判断した語彙の重なりを調査することにより、最重要の基本単語として最も濃い色に浮かび上がってくる語彙を提示してみようと考えた。

3. 作業手順と単語リスト

具体的には、『ディコ仏和辞典』（以下『ディコ』と略称）、『プチ・ロワイヤル仏和辞典（第3版）』（以下『プチ・ロワイヤル』と略称）の二つの辞書において、同時に最重要語と判定されている単語のリストを作成することにした。

当初は『クラウン仏和辞典（第5版）』も含めて行おうとしたが、例えば、見出し語の立て方に関連して、最重要語としているのか第二段階としているのか判断が付きかねる事例が見られる等の不明な点があったので、今回の調査からは除外した。

また、初学者にとっての重要語という観点から、このリスト中のどの単語が『フランス語基本500語』（以下『500語』と略称）に収録されているかを見ておくことは意味があるかと考え、『500語』に採られている単語には*を付した。

さらに、参考までに、『ディコ』、『プチ・ロワイヤル』のどちらか一方のみが最重要語と判定している単語リストも作成した。ここでも、『500語』に採られている単語には*を付した。なお最後に、『ディコ』、『プチ・ロワイヤル』は最重要語としていないが、『500語』が採用している単語のリストも加えた。

1) 『ディコ』と『プチ・ロワイヤル』で同時に最重要語とされている単語 (494語)

*à, *acheter, affaire, *âge, *aider, *aimer, *aller, *alors, *ami, *amour, *an, *ancien, *année, *août, apercevoir, *appeler, *apporter, *apprendre, *après, *après-midi, *arbre, *argent, *arrêter, *arriver, asseoir, *assez, *attendre, *attention, *aucun, *aujourd'hui, *aussi, *autant, *automne, *autour, *autre, *avant, *avec, *avoir, *avril, *bas, *beau, *beaucoup, *besoin, bête, *bien, *bientôt, *blanc, *bleu, *boire, *bois, *bon, *bonjour, *bouche, *bout, *bras, *bruit, *ça, *café, *campagne, car, cas, *cause, *ce, *ceci, *cela, celui, cent, *certain, chacun, *chambre, champ, *chance, *changer, *chanter, *chaque, *chaud, *chemin, *cher, *chercher, cheval, *cheveu, *chez, *choisir, *chose, *cinq, *clair, *classe, cœur, coin, *combien, *comme, *commencer, *comment, *comprendre, compter, *conduire, *connaître, *content, *continuer, contraire, contre, *côté, coucher, *couleur, coup, *couper, *courir, *court, *coûter, *croire, *cuisine, *dame, *dans, *de, *décembre, *dehors, *déjà, *déjeuner, *demain, *demander, *depuis, *dernier, *derrière, *des, *descendre, *deux, *devant,

*devenir, *devoir, *différent, *difficile, *dimanche, *dîner, *dire, *dix,
 *doigt, *donner, dont, *dormir, *doux, *droit, *du, dur, *eau, *école,
 *écouter, *écrire, effet, *elle, *en, *encore, endroit, *enfant, *enfin,
 *ensemble, *ensuite, *entendre, *entre, *entrer, *envoyer, *espérer, esprit,
 *essayer, est, *et, état, *été, *étranger, *être, *eux, *expliquer, *face,
 *facile, façon, faible, *faim, *faire, fait, *falloir, *famille, *femme,
 *fenêtre, *fermer, *février, *fille, *fils, *fin, *finir, *fleur, *fois, *fond,
 force, forme, *fort, *français, *frère, *froid, *gagner, *garçon, garder,
 *gauche, *gens, *gentil, *grand, *gros, *habiter, *haut, *heure, *heureux,
 hier, *histoire, *hiver, *homme, *huit, *ici, *idée, *il, *important, *jamais,
 *jambe, *janvier, *jardin, jaune, *je, jeu, *jeudi, *jeune, *joli, *jouer,
 *jour, *journal, *journée, *juillet, *juin, *jusque, *juste, *là, *laisser,
 langue, *large, *le, lequel, *les, *lettre, *leur, lever, *libre, lieu, *lire, *lit,
 *livre, *loin, *long, *longtemps, *lourd, *lui, *lundi, *madame, *mademoi-
 selle, *mai, *main, *maintenant, *mais, *maison, *mal, *manger, *manquer,
 *marcher, *mardi, *mars, *matin, *mauvais, me, *meilleur, *même, *mer,
 *merci, *mercredi, *mère, mesure, *mettre, *midi, *mieux, milieu, mille,
 *moi, *moins, *mois, *moment, *mon, *monde, *monsieur, *monter,
 *montrer, mort, *mot, mourir, *moyen, *mur, *ne, *nécessaire, *neuf, *ni,
 *noir, *nom, nombre, *non, nord, *notre, *nous, *nouveau, *nouvelle,
 *novembre, *nuit, *octobre, *œil, oiseau, *on, ordre, *ou, *où, *oublier,
 ouest, *oui, *ouvrir, *pain, *papier, *par, *paraître, *parce que, *pardon,
 *pareil, *parent, *parler, part, *partie, *partir, *partout, *pas, *passer,
 *pauvre, *payer, *pays, *peine, *pendant, *penser, *perdre, *père,
 permettre, *personne, *petit, *peu, *peur, *peut-être, pièce, *pied, *place,
 *plaire, *plaisir, *plein, *pleurer, *pleuvoir, *plus, *plusieurs, point, *porte,
 *porter, *poser, *possible, *pour, *pourquoi, *pousser, *pouvoir, *préférer,
 *premier, *prendre, *préparer, *près, *printemps, *prix, *prochain,
 *profond, *quand, *quatre, *que, *quel, *quelque, *quelque chose,

*quelqu'un, *question, *qui, *quitter, quoi, *raison, *recevoir, reconnaître, *regarder, *rendre, *rentrer, *répondre, *rester, *retourner, retrouver, *réussir, *revenir, revoir, *riche, *rien, *rire, *rouge, *rue, *saison, *samedi, *sans, *savoir, se, *semaine, *sembler, sens, *sentir, *sept, *septembre, *sérieux, *service, *servir, *seul, *seulement, *si, *six, *sœur, *soir, *soleil, *son, *sorte, *sortir, *sous, *souvent, sud, *sur, *sûr, *table, *tant, *tard, te, tel, *temps, *tenir, *terre, *tête, *tirer, *toi, *tomber, *ton, *toucher, *toujours, *tour, *tourner, *tout, *train, *tranquille, *travail, *travailler, *très, *trois, *trop, *trouver, *tu, *un, valoir, *vendre, *vendredi, *venir, *vent, *vers, *vert, *vie, *vieux, *ville, *vin, *vingt, *visage, *vite, vivre, *voici, *voilà, *voir, *voiture, *votre, *vouloir, *vous, *voyage, *vrai, *vue, y

2) 『ディコ』は最重要語としているが、『プチ・ロワイヤル』は最重要語としていない単語 (62語)

*ainsi, *bord, *cacher, *cour, *curieux, départ, dès, dieu, donc, doute, *église, élever, étonner, exemple, *guerre, *habitude, *hôtel, *impossible, *intéressant, intérieur, *jeter, liberté, loi, lorsque, *malade, *mari, *médecin, *minute, *mouvement, *naturel, occuper, *offrir, oser, parole, *plutôt, pourtant, *présenter, presque, *public, *puis, puisque, *qu'est-ce que, *qu'est-ce qui, *raconter, rappeler, remarquer, *rencontrer, reprendre, reste, *route, *simple, *somme, souvenir, suite, *suivre, *surtout, triste, *vacance, *village, *voisin, voix, *vraiment

3) 『プチ・ロワイヤル』は最重要語としているが、『ディコ』は最重要語としていない単語 (50語)

*air, amener, appartement, *avion, bateau, battre, bœuf, boîte, *bonsoir, brûler, bureau, chat, chien, compte, corps, *debout, dedans, *demi, dessous, dessus, différence, *envie, est-ce que, *étudiant, fer, *feu, *frais, France,

*gare, *ils, il y a, Japon, *japonais, *la, lancer, *leçon, *léger, ligne, magasin, naître, parmi, *propre, quelquefois, *salle, soif, sommeil, sourire, tellement, *tôt, vérité

4) 『ディコ』、『プチ・ロワイヤル』は最重要語としていないが、『500語』が採用している単語(42語)

*billet, *chaise, *course, *d'abord, *d'accord, *décider, *de l', *de la, *demi-heure, *dix-huit, *dix-neuf, *dix-sept, *dos, *douze, *elles, *examen, *faute, *fête, *fini, *franc, *frapper, *minuit, *montagne, *musique, *onze, *poste, *quatorze, *qui est-ce que, *qui est-ce qui, *quinze, *ressembler, *restaurant, *robe, *sec, *seize, *thé, *traverser, *treize, *une, *valise, *verre, *viande

上記のリストには表れていない点をいくつか補足しておく。まず、1)のリストにはあるが、*Dictionnaire du français langue étrangère, Niveau 1*にない単語は、françaisの1語だけである。

また1)のリストにあって、『朝倉フランス基本単語集』が採用していない単語を調べてみたが、これは約40語である。曜日、月、季節(hiverを除く)、方角等の他に、基本的な挨拶(bonjour、merci、pardon)や déjeuner、faim、midi、pleuvoirなどが重要語として採られていなかった。これらは、朝倉氏が基本語選択のために依拠された使用頻度の資料に基づいて除外されたのであろう。この40年で話し言葉の重要性が増していることは確かに感じられるが、他方で、500語レベルでは、時間的に見ても主要動詞等の基本語の変化はあまりないとも言える。

1)のリスト中の単語で『500語』に採られていないもののうち、機能語については、「実用フランス語技能検定試験」の5級レベルでは、直接目的補語、間接目的補語となる人称代名詞や過去時制が除外されているためと考えられる。この文法事項の制限は、意味を持つ単語の選択にも影響している。代名動詞が5級の範囲外なので、coucher、leverが『500語』では採られていないのであ

ろう⁹。さらに、『500語』で採用されていない単語には、初学者には使いにくい、endroit、état、fait、lieu、ordre、sensのような抽象的な意味を持つ単語が多い。ただし、これらの語は仏仏辞典を使うようになれば、フランス語による語義説明の中でもしばしば出会う単語である。フランス語学習者にとっての最終的な重要語と初学者にとっての基本語との違いをどうとらえるかという点も、熟慮が必要なところである。

4. 結びに代えて

さて、1)の単語リストを見ると、具体的な意味を持つ名詞の数が少ないことに驚かされはしないだろうか。今日多くの初級教科書で見かける単語も、最重要語と判定されてはいないのである。これは、具体的な名詞は、分野やコミュニケーションの状況に依存する割合が高いところから、一般的な扱いができないためであろう。また、時代と共に新しい製品や制度が生まれる一方、すたれる物や慣習もあり、単語の消長が最も激しいのも名詞だと思われる。初学者がフランス語の運用能力を身につけるためには、多くの練習を行う必要があるので、文法についても、言行為についても、様々な具体的な名詞を使いながら学んでゆくことになる。そのときどのような単語を優先的に学ばせるかは、学習の目的によって異なってくるだろう。

現在、中学校の英語の学習指導要領では、中学校3学年間に学習する単語を900語程度とし、そのうち100語のみを指定している¹⁰。したがって、残り800語は、指導要領の学習目標・学習内容にあわせて教科書ごとに選択できるわけである。

大学における第二外国語としてのフランス語学習の場合、学習者の専門、個人的関心等が多様であるため、一律の学習目的を想定することには無理があるかもしれない。しかし、基礎的なフランス語の運用能力を養成するという、初学者の学習目標に対しては、機能語以外にも文の構成力に関わる全学生に共通の重要語彙と、重視する分野、技能による自由選択語彙とを組み合わせることで教えることはできるのではないだろうか。

最終的には基本語彙の選択とは選択者の恣意によるものだとすることを認め
た上で、担当者間で重要な基本語彙とその学ばせ方を議論してゆくことは有意
義だと思う。

注

1. 中村啓佑、長谷川富子：『フランス語をどのように教えるか』、駿河台出版社、1995、
p. 9。
2. 同書、p. 61。
3. 田島宏：「基本語彙（12）－整理と展開－」、『基礎フランス語』1981年4月号、pp. 38
－41。
4. 同書、pp. 38－41。
5. 朝倉季雄：『朝倉フランス語基本単語集』、白水社、1959。この単語集は40年以上前
に出版されたものであるが、まえがきに記されているように、使用頻度についての調
査資料を使い明確な編集方針に基づいて編纂されているため、現在でも参考になる。
6. 荒木昭太郎、井村順一、篠沢秀夫、鈴木康司：『スタンダードフランス基本単語3469』、
大修館書店、1972。この単語集も出版以来30年以上が経過しているが、巻末に詳しい
語彙選定の基準と作業の説明が付されており、使用頻度を重視した基本語彙集として
は、『朝倉フランス語基本単語集』と同様に参考になる。
7. 『ディコ仏和辞典』、白水社、2003、p. ix。
8. フランス語教育振興協会編：『フランス語基本500語』、朝日出版社、1998。
9. 朝比奈誼氏によると、「実用フランス語技能検定試験」の5級レベルで必要とされる基
本語彙は、絞り込めば、「まずこれだけ覚えよう 最初の250語」（野村二郎、『ふらん
す』2001年4月号、pp. 104－115。）に140語程度を加えた400語見当だそうである。
（朝比奈誼、「仏検を診断する～5級と基本単語」、『ふらんす』2001年6月号、pp. 18－
19。）
10. 文部省：『中学校学習指導要領解説－外国語編－』、東京書籍、1999、p. 37、pp. 62－
63。

参考文献（注に挙げたものを除く）

Dictionnaire du français langue étrangère , Niveau 1, Larousse, 1978.

『クラウン仏和辞典（第5版）』、三省堂、2001。

『プチ・ロワイヤル仏和辞典（第3版）』、旺文社、2003。

鳥居正文、金子美都子、田島宏：『コレクション・フランス語⑨語彙』、白水社、1997。